



歴史が息づく行田の魅力が満載の忍城時代まつり

11月10日、市役所周辺で第34回行田商工祭・忍城時代まつりが行われました。

商工会議所が主催しているこの祭りは、行田の秋を彩る一大イベント。毎年恒例となっている火縄銃演武をはじめ、忍城おもてなし甲冑隊が中心となって結成した「成田座」による合戦劇「忍城最後の戦い」などが披露されると、会場を埋め尽くした観客から大きな歓声や拍手が送られました。来場者は、歴史が息づく行田の魅力を存分に感じる事ができたようです。

サケの雄姿に生命の神秘を感じて

11月9日、利根大堰でサケ遡上・採卵観察会が開催されました。

この催しは、利根川に遡上してくるサケの保護活動の一環として行われたものです。サケの生態や利根大堰についての説明、さらにはクイズ大会など盛りだくさんの内容となっており、今年も大勢の方が訪れました。採卵のときには、サケのお腹から卵がしぼり出される光景に、子どもから大人までが真剣に見入っていました。大海原を回遊し、生まれ故郷である利根川に戻ってきたサケの雄姿に、来場者誰もが生命の神秘を感じることができた観察会となりました。



全国藩校サミット行田大会に向けて

10月26日、商工センターで(財)忍郷友会主催の「第12回全国藩校サミット行田大会開催に向けた講演会」が行われました。

この講演会は、来年7月に本市で全国藩校サミットが開催されることから、藩校教育の理念などについて理解を深めてもらうために行われたものです。元埼玉県教育長の荒井桂さんを講師に迎え、江戸時代は、藩校の優れた人材教育が藩の充実につながったことなどが分かりやすく説明されました。参加者は、藩校教育の歴史的価値を理解するとともに、来年開催される藩校サミットを心待ちにしている様子でした。

笑顔あふれる人権ふれあいまつり

10月19日、「みらい」文化ホールで第11回北埼玉地区「みんな笑顔で人権ふれあいまつり」が開催されました。

この催しは、「人権尊重社会をめざす県民運動事業」の一環として行われたもので、人権問題についての関心と理解を深めてもらうことを目的としています。

当日は、人権作文の発表や団体などによる舞台発表が行われた他、地域の特産品が販売されるなど、さまざまな催しが行われました。会場を訪れた方は、改めて人権問題について関心と理解を深めるとともに、笑顔あふれる楽しいイベントを満喫していました。



元気な子供たちの笑顔がパワーアップ



10月30日、工藤市長が行田保育園を訪れ、「一日保育士体験」に参加しました。

この事業は、子供たちの成長や保育所での保育の状況、さらには保育所が果たしている役割などを、親を中心とした地域住民に理解してもらうために実施されています。今回初めて参加した工藤市長は、園児たちとマラソンやジャンケンゲームなどを行い、楽しい時間を過ごしました。園児たちが笑顔ですくすくと成長できるように、本市ではこれからも子育て環境の充実を図っていきます。

家庭とは違った表情を見せる子供たちに出会える一日保育士体験。保護者の皆さんもぜひ一度参加してみたいはいかがでしょうか。

自分たちの地域は自分たちで守る

11月16日、自主防災組織を対象にした平成25年度行田市防災訓練が埼玉県立総合教育センターで行われました。

防災訓練については、昨年から自主防災組織を対象に市内を5ブロックに分けて実施しており、この日は、東ブロックの20団体148人が参加。応急手当訓練や初期消火訓練などを実施しました。また、今年から、台風やゲリラ豪雨による水害に備えるため、土のう作り訓練が新たに加わりました。

参加者たちは、訓練を通して防災意識や知識の向上が図れた他、「自分たちの地域は自分たちで守る」ことの重要性を再認識していました。



趣味や活動の成果を発表する場として

11月7日から10日まで、コミュニティセンターみずしろで「みずしろフェスタ～いざ出陣～」が開催されました。

ベビーサインの実演やダンスの披露の他、手作りの料理やお菓子、アクセサリーの販売など、29のNPO法人やサークルによる趣味や日々の活動の発表が行われました。会場に足を運んだ方が世代を問わず交流し、大いににぎわった4日間となりました。



健康寿命を延ばす秘訣を紹介

11月19日、商工センターホールで健康づくり講演会「賢く食べて健康寿命を延ばす～世界調査で分かった秘訣～」が行われました。

大豆をテーマにした家森幸男さんによる講演では、世界中で行った調査から分かった大豆の優れた健康効果や健康長寿であるためのバランスのとれた食生活のあり方などについて紹介。参加者は大豆が持つ栄養パワーに驚かされるとともに、健康づくりにおける「食」の大切さを実感していました。





太極拳で毎日元気

栗原頼子さん (88歳・向町)

今年の7月に米寿を迎えてもなお、元気に太極拳を楽しむ一人の女性がいます。この武術から活力をもらい、生き生きとしたセカンドライフを送っているのが、今月紹介する栗原頼子さんです。

栗原さんが太極拳を始めたのは、78歳のとき。友人に誘われて、佐間公民館で開催された太極拳の講習会に初めて参加したことがきっかけでした。初めて太極拳を体験したときのことを「講師の動作に合わせてやってみましたが、よく分かりませんでした」と苦笑いしながら語ります。太極拳を始める前までは、趣味として自宅で着付け教室を開いたり、短歌教室に通ったりと、どちらかというと運動は苦手でした。そのため、講習会で太極拳をやってみても、それほど興味が湧かなかったそうです。しかし、高齢ということもあって「少しは体を動かすのもいいかな」と軽い気持ちで、同公民館の「佐間太極拳クラ



ブ」に入会しました。初めは「疲れてサークルに行くのが面倒だな」と思うこともありましたが、練習を重ねるうちに、仲間と一緒に汗を流す楽しさを感じるようになっていきました。現在、同クラブの最年長メンバーとして活動している栗原さんは「88歳になっても、こんなにたくさん友達ができてうれしい。週1回の活動日が本当に楽しみです」とほほ笑みます。

すっかり太極拳に夢中になってしまった栗原さん。自宅でもDVDを見て微妙な腕の角度を研究するなど、太極拳に対する熱意は増すばかり。太極拳と出会って10年目を迎えた今もなお「扇子を使った太極拳に挑戦したい。だって格好いいんだもの」と目標を語ります。今年の1月には2年に1度開催されている「日中武術国際友好演武大会」に参加。日本を含めた世界14カ国の武術愛好家が集まる大きな会場で、仲間と共に「簡化24式太極拳」を披露しました。さらには、参加した太極拳気功体操の部で最年長表演者として表彰もされたのです。「あと1回はこの大会に出てみたいな」すでに次の大会への参加を見据えた栗原さんの向上心は、とどまることを知りません。

生き生きと充実した毎日を送っている栗原さんに健康の秘訣について尋ねてみると、「おつくうでも動くことかな」とにっこり。大好きな太極拳を続けることが、エネルギーシユな日々を送るための源になっているようです。

私の作品

俳句

◎皆さんの作品を募集しています。◎俳句は毎月5日までにはがき・封書で広報広聴課へ応募ください。

再会の時間止まりし霜夜かな
渡柳 川田 静江

良夜でも十三夜でも人恋し
前谷 町田 貞子

庭隅の贅なる石露の花明かり
下須戸 澤田 郁

愚痴聞いてくれる猫いて秋に入る
白川戸 松本 忠之

秋の蚊に哀れみかけて刺されけり
持田 伊藤 洋子

チャボ竜のひげの中より青い玉
桜町 吉岡 守子

蹠跟や草掻き杖に冬菜摘む
城南 飯野 里子

リハビリを励ますごとく木の実独楽
持田 二瓶 弘子

鈴生りの柿一つ挽ぎ舌鼓
城西 山下 利江

コスモスの風に誘われ歩を伸ばす
城西 西田吉之助

白足袋の語り部熱き辻説法
矢場 中根 和子

残業の子を待ちわびるおでん鍋
荒木 藤田 明枝

露草のつゆと語らう散歩路
棚田町 財津ミチエ

父母越える八十路半ばの穂草取り
南河原 今村 文女

垣根越しそっと手渡す秋茗荷
佐間 須永 節子

神の留守知りつつ平癒祈願かな
城西 新井 禮子

長き夜や子の帰宅待つ親ごころ
長野 吉野 らん

新米に感謝を込めて箸をとる
持田 丸山 麟一

教え子の金婚記事や秋うらら
天満 青柳 欣吾

失職のふところさびし秋の雨
持田 小倉 繁三

(三沢 一水 監修)

はじめまして

平成24年
12月生まれの
おともだち



平成25年2月生まれのお子さんを募集します

- 12月2日(月)~27日(金)に電話またはEメールで広報広聴課 広報広聴担当(内線318) ※応募要領は市ホームページをご覧ください。
- 応募者多数の場合は、1月7日(火)午前11時から市役所203会議室で公開抽選を行います。

応募待ってるよ!



安藤 結愛ちゃん (忍)
平成24年12月21日生まれ
父 立裕さん 母 夏美さん
「わが家の姫♡
元気に大きくなあれ☆」



井口 歩稀ちゃん (持田)
平成24年12月25日生まれ
父 雅弘さん 母 聖子さん
「やっぱー
笑顔はいいよね♡」



小金澤 羽良ちゃん (持田)
平成24年12月12日生まれ
父 文也さん 母 理紗さん
「いつも笑顔を
ありがとう♡」



中塚 柚愛ちゃん (若小玉)
平成24年12月18日生まれ
父 謙治さん 母 陽子さん
「みんな大好き♡
♡の笑顔♡」



塚原 百合葉ちゃん (桜町)
平成24年12月10日生まれ
父 俊貴さん 母 ジエニーさん
「あなたが生まれて
毎日幸せ♡」



増田 瑚太郎ちゃん (棚田町)
平成24年12月28日生まれ
父 秀一さん 母 恵美さん
「わがやの
ほっぺた王子☆」



ぎょうだの会社を クローズアップ!!

株式会社東京軽合金製作所 チャレンジ精神あふれる 総合アルミニウム鋳造メーカー

昭和5年に創業。以来、軽量で高強度のアルミニウム製品をさまざまな産業分野に提供している株式会社東京軽合金製作所。現在は、自動車用「シリンドラヘッド」や「シリンドラブロック」などエンジン本体の部品を中心に生産しています。これらの製品は、溶かしたアルミニウム合金(以下「溶湯」という)を精密な金型に注入することで出来上がります。製品の用途によって、要求される強度や剛性などが異なり、材料(アルミニウム)成分の使い分けやマシン・金型の特性に適した工法を用いています。



会社プロフィール
代表取締役社長 小山博
事業内容
アルミニウム鋳造、ダイカスト製品の製造販売

平成12年に開発したのが、特殊充填鋳造法(T-SIP鋳造法)です。独自の技術を駆使し、凝縮し結集したノウハウを全て取り入れた工法です。精密な金型に溶湯を特殊給湯装置を用いて注入したことで、従来の低圧鋳造法が苦手としていた薄肉で軽量の製品を成形できるようになりました。さらに、生産性についても、格段に向上しました。このようなことから、鋳造技術の発展に大きく貢献したことが認められ、平成21年に日本鋳造技術工学会から「豊田賞」を受賞するなど高い評価を得たのです。

「技術を磨き、良いものを安く、タイムリーに、そして、心のこもった製品を提供すること、お客様に信用・信頼してもらえる企業を目指したい」と語る小山博代表取締役社長。人々の暮らしを豊かにする「ものづくり」を通して、同社はこれからも技術や品質、サービスの向上に日々挑戦し続けます。

第30回行田市鉄剣マラソン大会参加者募集

古代蓮の里を会場に、埼玉古墳群を走り抜けるコースで開催します。

また、ゲストランナーに増田明美さん(スポーツジャーナリスト)をお迎えする他、さまざまな企画を用意しています。

- ▶ **日時** 平成26年4月6日(日)※雨天決行
午前8時10分開会式
- ▶ **場所** 古代蓮の里からさきたま古墳公園を含む
周回コース

競技種目	対象	スタート時間	参加料	定員
ハーフ	男子39歳以下の部(高校生含む)	午前9時30分	3,500円 (高校生1,500円)	1,500人
	男子40歳代の部			
	男子50歳代の部			
	男子60歳以上の部			
	女子39歳以下の部(高校生含む)			
10キロメートル	男子40歳以上の部	午前9時20分	3,500円 (高校生1,500円)	1,000人
	男子50歳代の部			
	男子60歳以上の部			
	女子39歳以下の部(高校生含む)			
	女子40歳以上の部			
5キロメートル	男子39歳以下の部(高校生含む)	午前9時10分	3,500円 (高校生1,500円) (中学生 500円)	—
	男子40歳以上の部			
	女子39歳以下の部(高校生含む)			
	女子40歳以上の部			
	男子中学生の部			
1キロメートル	女子中学生の部	午前8時50分	400円	—
	小学6年生男子の部			
	小学5年生男子の部			
	小学4年生男子の部	午前9時		
	小学6年生女子の部			
	小学5年生女子の部			
小学4年生女子の部				
ジョギング				

※区分は大会日を基準とします。ただし、小・中学生、高校生はそれぞれ進級学年とします。
(例)小学6年生で卒業式を終えた生徒は中学1年生とします。

▶ **制限時間** ハーフマラソンの部は2時間30分、10キロメートルの部は1時間30分、5キロメートルの部は

40分(いずれもゴール地点)※ハーフマラソンの部は、9キロメートル地点(スタートから1時間5分)、16キロメートル地点(スタートから1時間55分)で通過制限時間を設定します。制限時間後は、交通規制を解除するため、レースの継続はできません。

▶ **表彰** 各部門1位～10位に賞状、賞品(ジョギングの部を除く)※完走者には、完走記録証を即日発行します。

▶ **申込方法**
【振替払込】所定の「払込取扱票」に全て記入の上、最寄りのゆうちょ銀行・郵便局で参加料を添えて申し込みください(必ず1人1枚使用してください)。※振込手数料として120円(ATMの場合は80円)がかかります。

【インターネット】大会ホームページ(<http://tekken-marathon.jp/>)から申し込みできます。参加料などの支払い方法は、ホームページに記載しています。※定員になり次第申し込みを締め切ります。

【QRコード】携帯電話からも申し込みできます。



▶ **申込締切** 【振替用紙】12月20日(金)まで※当日消印有効
【インターネット】平成26年1月30日(休)まで

▶ **注意事項**

- ・大会当日の参加申し込みはできません。
- ・計測チップ・ナンバーカードなどは、参加申し込み者に対し事前に送付します。
- ・駐車場はありませんので、JR行田駅、総合公園からの送迎バスをご利用ください。

▶ **主催** 行田市体育協会
▶ **共催** 行田市、行田市教育委員会、(公財)行田市産業・文化・スポーツいきいき財団
▶ **問い合わせ** スポーツ振興課 ☎556-8336



広告

イベント

行田ゆく年くる年

▼日時 12月31日(火)午後10時～平成26年1月1日(水)午前0時30分
▼場所 忍城址(郷土博物館) 鐘楼付近 ▼内容 鐘突き
▼園 商工観光課(内線382)

三世交代交流餅つき会

▼日時 12月26日(木)午前9時30分～午後1時 ▼場所 総合福祉会館「やすらぎの里」中庭(雨天時は第1研修室) ▼対象 ①市内在住の60歳以上の方②幼児、小学生およびその保護者(祖父母と孫の組み合わせも可) ▼定員 50人 ▼参加費 100円(保険代含む) ※当日徴収 ▼持ち物 エプロン、三角巾 ▼園・園 12月9日(月)から直接または電話で行田市社会福祉協議会 ☎557-5400

集まれ!未来の「川の国」応援団「埼玉の魚大集合」

▼日時 平成26年1月13日(月)午前10時～午後2時30分 ▼場所

さいたま市民会館うらわ(さいたま市浦和区仲町2-10-22)

▼内容 【さいたま水族館がやってくる!】さいたま水族館移動水族館【ムサシトミヨ、ムジナモなど埼玉の珍しい魚や生物を展示する【タッチングコーナー】カメやドクターフィッシュに触る【魚や水辺の生き物を作ろう!】折り紙水族館【折り紙夢工房】の皆さんによる折り紙教室【君も埼玉の川博士!】川の国埼玉検定【パネルを見ながら川に関する問題に答える】▼その他 川の再生活動に取り組む「川の国応援団」が一堂に会する「川の再生交流会」と同時開催 ▼園 埼玉県水環境課 ☎048-830-3088

フライハイト第九

▼日時 12月22日(日)午後1時30分開演 ▼場所 羽生市産業文化ホール(羽生市下羽生876) ▼出演 増田和典さん(指揮)、萩原みかさん(ソプラノ)、小川明子さん(アルト)、黄木透さん(テノール)、原田勇雅さん(バス)、東京アカデミック管弦楽団、フ

ライハイト合唱団 ▼入場料【前売り】3千円(指定席)、2千500円(自由席)、1千円(高校生以下)【当日】3千円(自由席のみ) ▼チケット取り扱い 同文化ホール、宮脇書店行田店、川島書店他 ▼主催 北埼玉に第九を根付かせる会 ▼後援 行田市教育委員会他 ▼園 同合唱団事務局細村 ☎556-3463

サイエンスショー

▼日時 平成26年1月26日(日)午後1時50分開演 ▼場所 熊谷会館(熊谷市末広3-9-2) ▼内容 チャーリー西村さん(サイエンスエンターテイナー)による「租税教育とサイエンスショー」 ▼定員 1千100人(先着順) ▼入場無料 ▼園 公益社団法人行田法人会 ホームページ(<http://www6.ocn.ne.jp/~gyohojin/>)から申込書をダウンロードし、必要事項を記入の上、1月10日(金)までに直接またはFAXで同法人会【持参】忍2-1-8 商工センター内【FAX】554-6969 ▼園 同法人会 ☎54-4535

求人企業合同面接会 採用担当者と直接話してみましよう

▼日時 平成26年1月17日(金)午後1時～4時 ▼場所 大宮ソニックシティビル市民ホール(さいたま市大宮区桜木町1-7-5) ▼対象 平成26年3月に大学・短大・専門学校を卒業見込みの方または卒業後1～3年以内の方 ▼その他 予約不要、履歴書複数持参、入退場自由、参加企業情報を来場者全員に配布、参加企業名は埼玉県雇用対策協議会ウェブサイト(<http://www.kotaikeyu-saitama.ne.jp/>)へ掲載 ▼園 同協議会 ☎048-647-4185

相談

労働トラブル 無料電話相談

▼日時 毎月第2水曜日午後6時～8時 ▼相談内容 「上司から大声で叱責される」「一方的に賃金の減給を言い渡された」など労働トラブルに関する相談 ▼電話番号 048-838-1889 ▼主催 埼玉司法書士会 ▼園 同会事務局 ☎048-863-7861

広告

全青司・労働トラブル 110番 2013

▼日時 12月21日(土)午前10時〜午後7時
▼内容 司法書士による労働トラブルに関する無料電話相談
▼相談電話番号 0120-610-787(当日のみ通話可能)
▼主催 全国青年司法書士協議会
▼会場 嶋根(司法書士) ☎048-799-2860

講座・講演会・教室

きもちリフレッシュ講座 「笑い気功で全身笑顔になろう」

「笑い」は、心も体もすっきりさせる身近で手軽な健康法です。「笑い気功」の呼吸法を身に付けて、全身リフレッシュしてみませんか。

▼日時 平成26年1月18日(土)午前10時〜11時30分(午前9時30分から受け付け)
▼場所 商工センター401研修室
▼内容 実習とジェイ神原さん(笑い気功協会)による講話「笑い気功で全身笑顔になろう」
▼定員 20人(先着順)
▼持ち物 動きやすい服装、飲み物

▼その他 市民けんこう大学・大学院と合同開催
▼囲・囿 平成26年1月10日(金)までに直接または電話で保健センター健康づくり支援担当(市役所内・内線378)

行田市人権教育合同学習講演会

▼日時 平成26年1月18日(土)午後1時30分開演
▼場所 「みらい」文化ホール
▼演題 「マスの人権問題考」〜ことばはプレゼント〜
▼講師 増岡弘さん(声優・俳優)
▼内容 アニメ「サザエさん」のマスおさん役の声優である増岡さんが、登校拒否やいじめ問題などについて語る
▼入場無料
▼主催 行田市教育委員会、行田市PTA連合会、行田市人権教育推進協議会
▼その他 手話通訳、ひととき保育(2歳以上の未就学児の保育・無料)を行います。ひととき保育を希望する方は、平成26年1月10日(金)までに、ひとづくり支援課へ申し込みください(当日申し込み不可)。また、市内の小・中学生が描いた人権ポスター展を同時開催します。
▼囲 同課 ☎556-8319

そば一人打ち教室

▼日時 ①平成26年1月15日(水) ②1月22日(水) ③1月29日(水)いずれも午前10時〜午後1時
▼場所 総合福祉会館「やすらぎの里」調理実習室
▼対象 市内在住の60歳以上でそば打ち経験のある方
▼定員 各コース5人(先着順) ※いずれか1回のみ
▼参加費 1千円
▼持ち物 エプロン、三角巾
▼囲・囿 12月17日(火)午前9時から直接または電話で行田市社会福祉協議会 ☎557-5400

XP移行対策セミナー「XPサポート終了まであと3か月!失敗しないOS選びとOS移行の留意点」

▼日時 12月12日(木)午後2時〜3時30分
▼場所 行田商工会議所会議室
▼内容 サポート終了後はセキュリティアップデートがなくなるため、OSを攻撃するウイルスなどに対応できなくなるリスクがあるウィンドウズXP。各種対策や移行などの課題を知り、サポート終了に備える
▼定員 15人(先着順)
▼参加無料
▼主催 同会議所
▼囲・囿 12月11日(水)までに電話またはFAXで同会

議所 ☎556-4111 【FAX】556-0059

絵手紙教室

▼日時 平成26年1月14日・28日、2月4日・25日、3月11日の火曜日(全5回) 午後1時30分〜3時30分
▼場所 南河原隣保館生活改善室
▼内容 絵も文字も下手さが魅力!そんな個性的な絵手紙を学ぶ
▼講師 大沼栄蔵さん
▼材料費 300円
▼その他 初めての方大歓迎
▼囲・囿 同館 ☎557-3334

農業カルチャー講座

▼日時 平成26年1月25日(土)午前10時〜正午
▼場所 県立羽生実業高等学校
▼講座名 シンバスターで作るメディカルクリーム
▼対象 一般
▼定員 20人
▼受講料 1千500円
▼囲 往復はがきに住所、氏名、電話番号、講座名を記入し、平成26年1月11日(土)までに県立羽生実業高等学校農業カルチャー講座係(〒348-8502 羽生市羽生323)へ
▼囲 同校 ☎561-0341

広告

(公財)行田市産業・文化・スポーツいきいき財団

申し込み・問い合わせ



産業文化会館
TEL 556-6371
FAX 556-6372



商工センター
TEL 553-0510
FAX 553-2021



古代蓮会館
TEL 559-0770
FAX 559-0784



グリーンアリーナ
TEL 553-3377
FAX 553-0487

<http://www.ikiiki-zaidan.or.jp/index.html>

古代蓮の里 プレミアムイベント 石の夜景

年未限定企画として、古代蓮会館の開館時間の延長や、売店出店業者による特別販売を行います。また、展望室からのすてきな夜景をお楽しみください。
▼日時 12月14日(土)〜25日(水) 前9時〜午後9時(入館受け付けは午後8時30分まで) ▼

場所 古代蓮会館 ▼入館料

【大人】400円【小人(小・中学生)】200円※障害者割引あり ▼その他 期間中、同館休憩所でコンサートを開催します。①12月14日(土)午後6時30分(約1時間) Blue☆Rose (クロスオーバーユニット)によるコンサート ②12月15日(日)・21日(土)午後6時30分(約1時間) 潮崎ひろのさん(シンガーソングライター)によるコンサート ③12月22日(日)・23日(月)午後6時30分(約1時間30分) 加藤栄さん(ハーモニカ奏者)によるコンサート



クリスマスコンサート

▼日時 12月21日(土)午後2時開演 ▼場所 産業文化会館ホール ▼内容 クラシックコンサート【1部】フィギュアスケートの音楽など【2部】クリスマスの曲など ▼演奏曲目 「ジエームズ・ボンドのテーマ」「アイ・ガット・リズム」「星に願いを」「クリスマススメドレー」他 ▼出演 行田音楽家協会 ▼入場無料



米村でんじろう サイエンスショー

▼日時 平成26年3月2日(日)【1回目公演】午後1時開演【2回目公演】午後3時30分開演 ▼場所 産業文化会館ホール ▼入場料 全席指定【大人】2千円【小人】1千500円(2歳以下の膝上観覧は無料。※座席が必要な場合はチケットを購入してください) ▼チケット取り扱い 12月22日(日)午前9時から同館他各プレイガイドで発売(電話受け付けは翌日午前10時から)



古代蓮会館迎春企画 タワーからみんまで見よう「初日の出」

▼日時 平成26年1月1日(水) 午前6時〜9時(入館受け付けは午前8時30分まで) ▼場所 古代蓮会館 ▼内容 無料 おしるこサービス、福袋の販売、はずれ無しのお楽しみ抽選



会を開催。なお、日の出の時間帯(午前6時〜7時15分)の展望室利用は、先着70人までに限る。※当日、受け付け時に整理券を配布 ▼入館料【大人】400円【小人(小・中学生)】200円※障害者割引あり



古代蓮会館手作り紙ねん土細工講座 千支シリース おウマさん

▼日時 12月22日(日)午後1時〜4時 ▼場所 古代蓮会館 協力 吉田初代さん(全国創作ねん土人形の会「サン・クラフト・ドール」) ▼参加費 250円(材料費1体分) ▼その他 別途、古代蓮会館入館料【大人】400円【小人(小・中学生)】200円※障害者割引あり ▼開催時間中随時受け付け



広告

金錯銘鉄剣の語る古代

昭和53年(1978)、稲荷山古墳出土の鉄剣から115文字の金錯銘が発見され、「世紀の大発見」と騒がれました。鉄剣の銘文を今の言葉に直すと、表は「辛亥の年(471) 七月中に記す。(私の名は) ヲワケの臣。遠い先祖の名はオホヒコ、その子(の名) はタカリノスクネ、その子の名はテヨカリワケ、その子の名はタカヒシワケ、その子の名はタサキワケ、その子の名はハテヒ」裏は「その子の名はカサハヨ、その子の名はオワケの臣。先祖代々杖刀人の首(大王の親衛隊長)として仕えて今に至る。ワカタケル大王(雄略天皇)の朝廷(住まい)が、シキの宮におかれておるとき、私は大王が天下を治めるのを助けた。何回もたいて鍛えあげたよく切れる刀を作らせて、私と一族のこれまでの大王に仕えた由緒を書き残しておく」となります。この鉄剣は、文字記録がほとんどない5世紀後半の和朝廷の様相などを伝える超一級の資料なのです。



表 裏
金錯銘鉄剣

では、この鉄剣と共に稲荷山古墳に葬られた人物はヲワケの臣なのでしょうか。稲荷山古墳に葬られた人物とヲワケの臣との関係については、「ヲワケの臣は、大王が天下を治めるのを補佐した近畿地方の豪族で、ヲワケの臣本人が関東地方に派遣され、鉄剣と共に稲荷山古墳に葬られた」「ヲワケの臣は近畿地方の豪族で、杖刀人として近畿地方に赴いた北武蔵地域の豪族の子弟が杖刀人の首であるヲワケの臣に仕え、功績が著しかったのでヲワケの臣から鉄剣を与えられ、鉄剣と共に稲荷山古墳に葬られた」「ヲワケの臣は北武蔵地域の豪族で、近畿地方に赴いて杖刀人の首を務め、鉄剣と共に稲荷山古墳に葬られた」という3つの説があります。どの説にもそれなりの根拠があり、新資料が発見されない限り決着はつかない状況ですが、いずれにせよ鉄剣と共に稲荷山古墳に葬られた人物が和朝廷と強いつながりを持っていたと推測されます。

(文化財保護課 中島洋一)

こぜに ^{with フラベス} 行く! ちゃん
はちまんやまこふん
八幡山古墳

八幡山古墳は、藤原町にある直径80メートルの円墳で7世紀前半に造られたと考えられているんだ。

八幡山古墳の特徴はなんといっても石室があること。この石室は、前・中・後室の3室からなっていて、全長は16.7メートル。また、奈良県明日香村の石舞台古墳に匹敵する巨大な石室であることから「関東の石舞台」とも呼ばれているんだ。

石室は土・日曜日、祝日(年末年始を除く)に公開しているから、ぜひ見に来て、古代ロマンを感じてくださいね。

このコーナーでは、行田の歴史や名所、名物などを行田ゼリーフライキャラクターのこぜにちゃんが分かりやすく紹介します。



編集・発行／行田市総合政策部広報広聴課
TEL 556-1111 FAX 550-2116
〒361-8601 行田市本丸2番5号

今月の表紙 11月10日に開催された第34回行田商工祭・忍城時代まつり。恒例イベントとなっている武者行列に、成田長親と甲斐姫が馬に乗って登場しました。その姿を一目見ようと会場を埋め尽くした観客に対して、笑顔で手を振る長親と甲斐姫。会場となった市役所周辺は、まるで戦国時代にタイムスリップしたかのようでした。(関連記事20ページ)

市報ぎょうだに掲載されているあなたの写真を差し上げます。ご希望の方は、広報広聴課広報広聴担当(内線318)まで。
市民の皆さんの市政に対するご意見をお待ちしています。
市報をCD-Rに録音したものを希望者宅にお届けします。ご希望の方は、広報広聴課広報広聴担当(内線318)までご連絡ください。

